



### NEWタンドラ用パーツ 大量開発中!!

88HOUSEのブースで6インチリフトした新型タンドラに遭遇。CAMコントローラーやコンプレッサーシステム、インタークーラー、デュアルエキゾースト、ステンレス製ヘダー、そして大容量トルクコンバーターといったエンジン駆動系パーツや、サスペンション関連のパーツを大量に開発中とのことで、今後の動きにも注目!

### ランクル用パーツも開発中なのです。

こちらは14年型のランドクルーザー200で、4.5ℓV8ツインターボ・ディーゼルを搭載したモデル。海外モデル専用フロントスポイラーが特徴的だが、これを展示した88HOUSEでは現在前後フルバンパースポイラーやサイドスポイラー、エアロスタイルグリル、オーバーフェンダー(30mm/60mm)といったボディパーツを開発中。このほかエンジン、サスペンション関連のパーツも大量に開発中だ。



### デイトナコブラをマニアックに追求。

こちらはベビーコブラジャパンが製作したデイトナコブラクーへのプロトタイプ。シェルビーアメリカンのボディを使用しているが、オリジナル・デザインを細部まで追及した結果、ほとんど作り直しているという。シャーシはC4。このプロトタイプをベースとして4月頃に市販化予定とのこと。



### ハイ皆さん、足元に注目〜!!

IROCのブースに展示されたC7で、注目したいのはそのホイール。このROUD R-CV7はC7の日本輸入モデルのアップグレードパーツに採用されており、リムにはCORVETTEのロゴも入る。カラーバリエーションはチタニウム・メタル・グラデーション、マットブラック、メタリック・ブロンズの3種類。サイズはフロント20×8.5、リア20×10.0。



### メタル・オン・ブラック!!

新型タンドラの最上級グレード、1794エディションが展示され

ていたのはトヨタ系逆輸入車を中心に扱うM'sオートのブース。"メタル・オン・ブラック"とネーミングされているように、クロムが映えるブラックボディは3インチのリフトアップ。足元ではWORXの20インチリムにBFGの325/60R20が組み合わせられ、マッパな印象を強くしている。



### プロデュースしたのは……?

FLEXブースに展示された新型タンドラは水色を基調としたデジタルカモフラージュ柄のラッピングが爽やかな印象だが、実はこのエクステリアをプロデュースしたのはタレントのヒロミさん。ICONのキットによるリフトアップは3インチ。ホイールには20インチのクリムゾン・MGピストをセレクトしている。



### キャデラックのチューンドパーツと言えば……。

キャデラック・チューナーとして知られるD3のATSがエクスプライドの手によって日本上陸を果たした。戦闘的でありながらもスタイリッシュなエアロパーツはD3ならでは。サスペンションにはプロトタイプとなるロフリングコイルが採用されている。なお、ホイールはHREだが左右で異なり、ドライバーサイドにP104を、パッセンジャーサイドにP101をインストールしている。

